



Microsoft Teams

Scrums for Channels

管理者ガイド

日本マイクロソフト株式会社

2020/9/1

改定履歴			
版	章	日付	変更内容
1.0	すべて	2020/09/01	初版

1. はじめに.....	4
2. 前提条件.....	5
2-1. MICROSOFT 365 E3/E5 のライセンス.....	5
2-2. MICROSOFT AZURE のサブスクリプション.....	5
3. 使用開始の手順.....	7
3-1. リソースグループの作成	7
3-2. アプリの登録.....	9
3-3. クライアントシークレットの作成	10
3-4. カスタムデプロイ.....	12
3-5. ZIP ファイルのダウンロード.....	15
3-6. MANIFEST.JSON の書き換え.....	15
3-7. MICROSOFT TEAMS へのアップロード.....	17
3-8. チャンネルへの追加.....	20
4. デプロイが失敗したとき場合の対処	21
4-1. 再デプロイ	21
4-2. 使用開始手順のやり直し	21
5. よくある質問.....	25

1. はじめに

Scrums for Channels は Microsoft Teams のチャネル上で使用するボットベースのコミュニケーションアプリです。チャットや通話、ファイル共有などに加えて、チームで進めている業務に関する日々の共有を Microsoft Teams 上で行うためのソリューションとなります。業務単位で作成されたチーム・チャネル内のメンバーが、進捗や予定の共有など業務を円滑に進めるために毎日必要となるコミュニケーションを簡単に行えるようにサポートします。

本文書は、すでに英語で公開されている Scrums for Channels を日本語版にローカライズしてリリースするにあたり、日本語で Scrums for Channels を組織の Microsoft Teams に展開する管理者向けに執筆されたマニュアルです。Scrums for Channels を業務で使用する際の操作手順に関しては、ユーザー向けの利用者マニュアルをご確認ください。



Scrums for Channels
free

チームに追加

情報
アクセス許可

Scrums for Channelsはチーム内のあなたのスクラム ステータスを更新します。

Scrums for Channels はスクラムを実現するためのシンプルなツールで非同期で実行されます。簡単に日々のアップデートの共有を実現するために用意されています。

ボット
アプリとのチャットで、質問をして情報を検索します

作成者: Infoshare Inc.
バージョン 1.0.0

アクセス許可

このアプリには次のアクセス許可が与えられます:

- メッセージとそれに提供するデータを受け取ります。
- メッセージと通知を送ってください。
- 自分の名前、メール アドレス、会社名、および表示言語などのプロフィール情報にアクセスします。
- メッセージおよびチャネル内でチーム メンバーがメッセージ提供するデータを受信します。
- チャネル内でメッセージと通知を送信します。
- チーム名、チャネル一覧および参加者一覧 (チーム メンバーの名前とメールアドレスを含む) など、このチームの情報にアクセスし、この情報を利用して、チームと連絡を取ります。

Scrums for Channels を使用すると、[プライバシー ポリシー](#)と[使用条件](#)に同意したことになります。

2. 前提条件

2-1. Microsoft 365 E3/E5 のライセンス

Scrums for Channels を使用するには

Microsoft 365 E3 または **Microsoft 365 E5** のライセンスが必要です。

¥3,480 ユーザー/月相当 (年間契約) <small>価格には消費税は含まれていません。</small>	¥6,200 ユーザー/月相当 (年間契約) <small>価格には消費税は含まれていません。</small>	¥1,090 ユーザー/月相当 (年間契約) <small>価格には消費税は含まれていません。</small>
Microsoft 365 E3	Microsoft 365 E5	Microsoft 365 F3
クラス最高の生産性向上アプリに大企業のための中核的なセキュリティとコンプライアンスの機能を組み合わせました。	クラス最高の生産性向上アプリに加えて大企業のための高度なセキュリティ、コンプライアンス、音声通信、分析の機能を利用できます。	旧称 Microsoft 365 F1。現場の最前線で働く従業員が最高の仕事をするための力となる、生産性向上アプリとクラウドサービスを集めました。
ご購入前の相談窓口	ご購入前の相談窓口	ご購入前の相談窓口
詳細情報 >	詳細情報 >	詳細情報 >

2-2. Microsoft Azure のサブスクリプション

Scrums for Channels を使用するには、Microsoft Azure のサブスクリプションが必要です。サブスクリプションがない場合は、下記の手順に沿ってサブスクリプションを購入します。

※ここでは Azure 無料試用版のサブスクリプションの開始手順を説明しますが、無料試用版に付随する 200 ドル分の無料クレジットを消費した後も Scrums for Channels の使用を継続する場合は、有償版の Azure サブスクリプションにアップグレードする必要があります。

1. <https://portal.azure.com/> にアクセスする。
2. サインインしたら右の画面が表示される。「Azure の無料試用版から開始する」「Azure の無料試用版から開始する」の「開始」をクリックする。



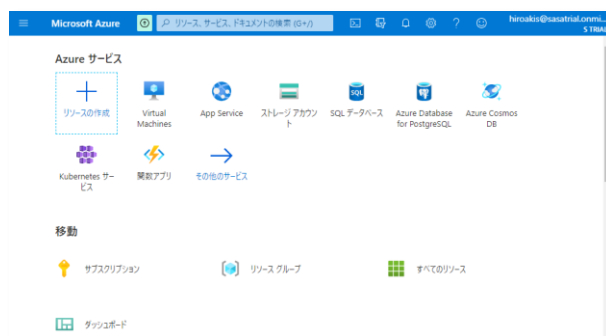
3. 画面表示に従って[自分の情報][電話による本人確認][カードによる本人確認][アグリーメント]の各項目を入力する。



4. すべての項目を入力し「サインアップ」をクリックすると、右の画面に移動する。「ホーム」をクリックする。



5. 右の画面が表示されれば Azure サブスクリプションの準備は完了となる。



3. 使用開始の手順

アプリの登録の全体の流れは下記のとおりです。

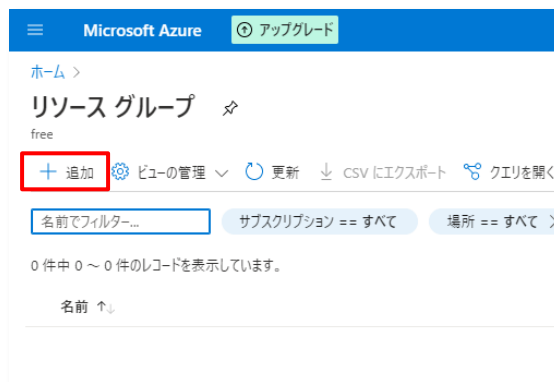


3-1. リソースグループの作成

1. <https://portal.azure.com> にアクセスし、自分の Azure サブスクリプションにサインインする。
2. 「リソースグループ」をクリックする。



3. 「追加」をクリックする。



4. 項目を入力して「確認および作成」をクリックする。
リソースグループには任意のリソースグループ名を、
リージョンには該当する地域を入力する。

※サブスクリプションでは契約している Azure のサブ
スクリプションを選択してください。



5. 検証が開始される。検証に成功したら「作成」をク
リックする。



6. 画面右上の通知（ベルのアイコン）を開くと、リソー
スグループが作成されたという表示が出る。「リソース
グループに移動」をクリックすると作成したリソースグ
ループの画面が開き、作成が完了していることが確
認できる。



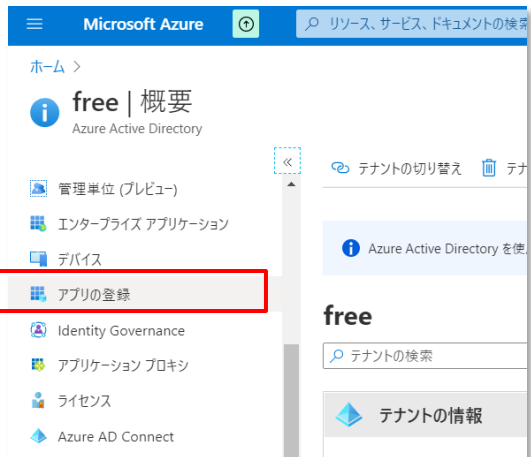


3-2. アプリの登録

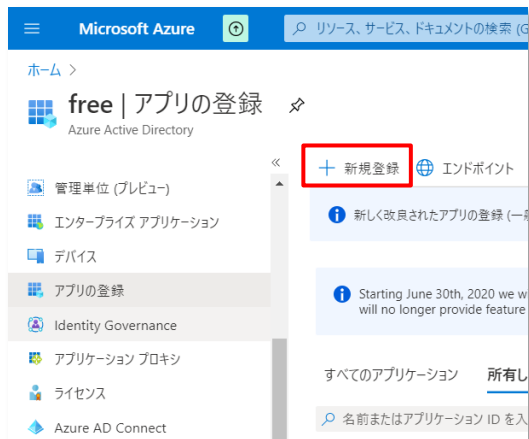
1. <https://portal.azure.com>にアクセスし、自分の Azure サブスクリプションにサインインする。



2. 「Azure Active Directory」をクリックし、左のメニューから「アプリの登録」をクリックする。



3. 「新規登録」をクリックする。



4. 登録画面が開くので「名前」と「サポートされているアカウントの種類」を指定する。

「名前」はアプリの表示名として任意の文字列を、「サポートされてあるアカウントの種類」は 2 番目の「任意の組織ディレクトリ内のアカウント（任意の Azure AD ディレクトリ – マルチテナント）」を選択する。

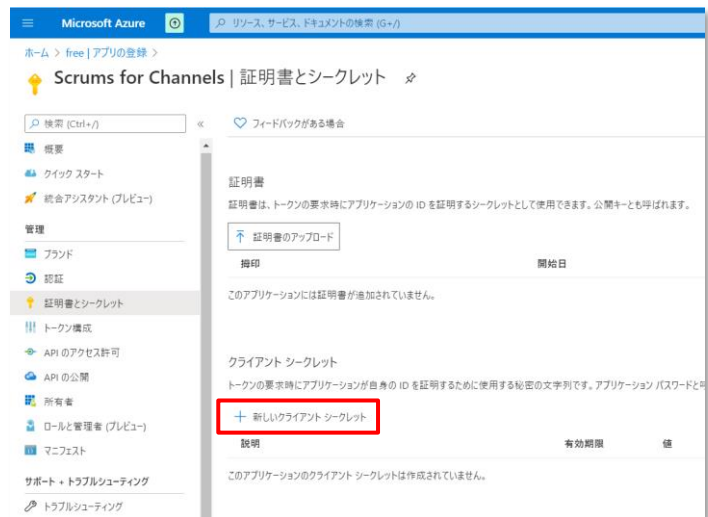
「登録」をクリックする。

5. アプリが登録されると、アプリの詳細画面に移動する。ここで**アプリケーション(クライアント)ID**をコピーし、メモ帳などに張り付けておく。（後の手順で使用する。）

3-3. クライアントシークレットの作成

1. 左のメニューから「証明書とシークレット」をクリックする。

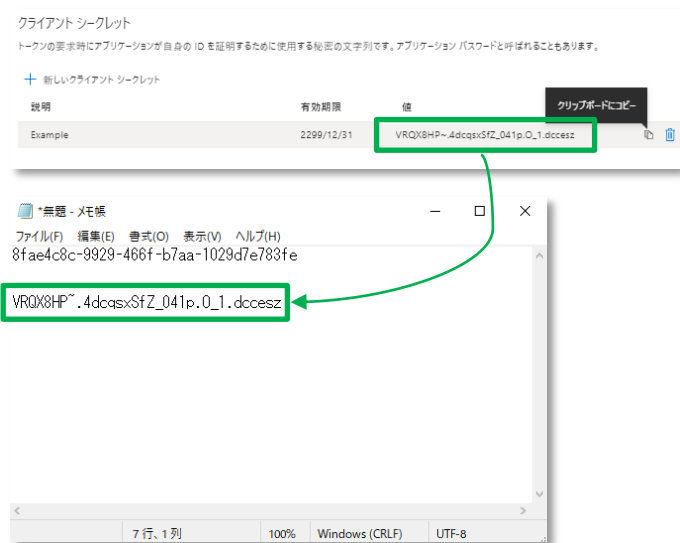
2. クライアントシークレットから「新しいクライアントシークレット」をクリックする。



3. 「説明」に任意の文字列を入力し、「有効期限」は「なし」を選択する。「追加」をクリックする。

The screenshot shows the 'クライアント シークレットの追加' (Add Client Secret) form. It has a title bar 'クライアント シークレットの追加'. Below the title bar is a '説明' (Description) text input field containing the text 'Example'. Below the description field is the '有効期限' (Expiration) section, which includes three radio button options: '1 年' (1 year), '2 年' (2 years), and 'なし' (None). The 'なし' option is selected. At the bottom of the form are two buttons: '追加' (Add) and 'キャンセル' (Cancel). The '追加' button is highlighted with a blue background.

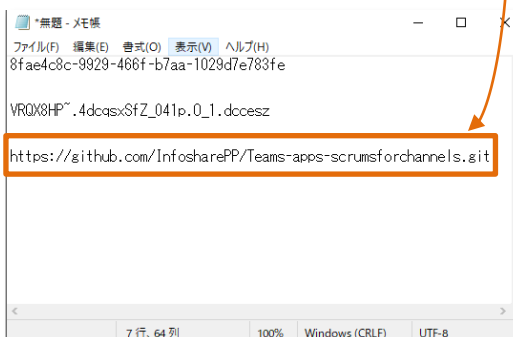
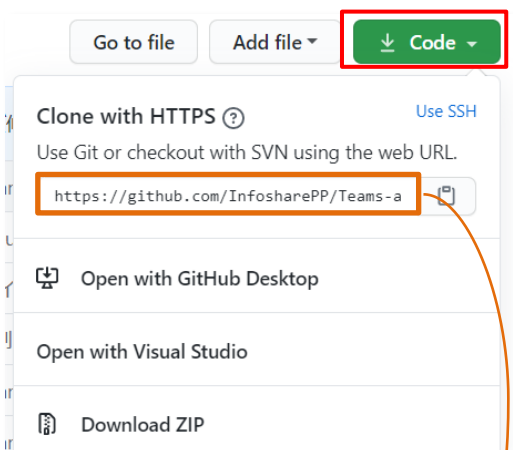
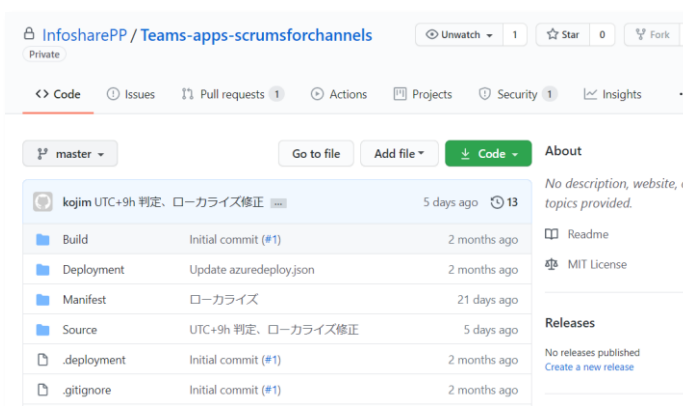
4. 作成された**クライアントシークレットの値**をコピーし、メモ帳などに張り付けておく。(後の手順で使用する。)



3-4. カスタムデプロイ

1. <https://github.com/OfficeDevJp/microsoft-teams-apps-scrumsforchannels> にアクセスする。

2. 「Code」をクリックしメニューを開き、「Clone with HTTPS」の **Git** をコピーし、メモ帳などに張り付けておく。（後の手順で使用する。）



3. <https://portal.azure.com/#create/Microsoft.Template/uri/https%3A%2F%2Fraw.githubusercontent.com%2FOfficeDev%2Fmicrosoft-teams-apps-scrumsforchannels%2Fmaster%2FDeployment%2Fazuredeploy.json> にアクセスする。



4. カスタムデプロイ画面で下記の入力を行う。

リソースグループ:

[3-1.リソースグループを作成する]で作成したリソースグループ

Base Resource Name: 任意の名前

※文字列にスペースをいれないでください。デプロイに失敗します。

Bot Client ID:

アプリケーション(クライアント)ID

([3-2.アプリを登録する]でコピーしたもの)

※アプリケーション(クライアント)ID は後の手順で再度使用するので、メモに残しておくことをお勧めします。

Bot Client Secret:

クライアントシークレットの値 ([3-3.クライアントシークレットの作成]でコピーしたもの)

App Display Name: 任意のアプリ表示名

Git Repo Url:

Git ([3-4.カスタムデプロイ]の上の手順でコピーしたもの)

※元から入っている Git Repo Url 値から書き換えてください。元の値から書き換えずにデプロイを実行すると、英語版のアプリが展開されます。

Git Branch:

「master」を「**main**」に書き換える。

5. 使用条件に同意し、「購入」をクリックする。

The screenshot shows the 'Custom Deployment' (カスタム デプロイ) page in the Azure portal. The page is divided into 'Basic' (基本) and 'Settings' (設定) sections. In the 'Basic' section, the 'Subscription' (サブスクリプション) is set to '無料試用版' (Free Trial), 'Resource Group' (リソース グループ) is 'FirstRS', and 'Location' (場所) is '(Asia Pacific) 東日本'. In the 'Settings' section, 'Base Resource Name' (Base Resource Name) is 'FirstScrum', 'Bot Client ID' (Bot Client ID) is '8fae4c8c-9929-466f-b7aa-1029d7e783fe', 'Bot Client Secret' (Bot Client Secret) is 'VRQX8HP~.4dcqsxSfZ_041p.0_1.dccesz', 'App Display Name' (App Display Name) is 'FirstScrum', 'App Description' (App Description) is 'Scrum for Channels helps you get status updates from your team.', 'App Icon Uri' (App Icon Uri) is 'https://raw.githubusercontent.com/OfficeDev/microsoft-teams-apps-scrumsf...', 'Tenant Id' (Tenant Id) is '2d48a0d9-ca71-4f6d-8349-9a8e7ba54b02', 'Token Encryption Key' (Token Encryption Key) is 'bqnjvlybpq2fcpsuhwyhrb7j5m', 'Sku' (Sku) is 'Standard', 'Enable Scrum Export' (Enable Scrum Export) is 'false', 'Plan Size' (Plan Size) is '1', 'Location' (Location) is 'japaneast', 'Git Repo Uri' (Git Repo Uri) is 'https://github.com/InfosharePP/Teams-apps-scrumsforchannels.git', and 'Git Branch' (Git Branch) is 'main'. A text editor window is open in the foreground, showing the 'Bot Client ID' and 'Bot Client Secret' values, with arrows pointing from the deployment page to the text editor. The text editor also shows the 'Git Repo Uri' and 'Git Branch' values.

The screenshot shows the 'Use Conditions' (使用条件) dialog box in the Azure Marketplace. The dialog box has a title bar '使用条件' and a subtitle 'Azure Marketplace の使用条件 | Azure Marketplace'. The main content area contains the text: '[購入] をクリックすることで、お客様は (a) サービスに関連付けられている当社の法律条項に同意し、(b) サービスの利用を停止するまでの間、Microsoft より、そのサービスに関連する料金 (適用される場合) が、現在の支払い方法に対して Azure サブスクリプションと同一請求頻度で請求または請求されることを認め、かつ (c) デプロイにサードパーティのサービスが関与する場合に、Microsoft がお客様の連絡先情報および当該デプロイの他の詳細をそのサービスの発行元と共有する可能性があることに同意するものとします。' Below the text, there is a checkbox labeled '上記の使用条件に同意する' (I agree to the above terms of use), which is checked. At the bottom of the dialog box, there is a button labeled '購入' (Purchase), which is highlighted with a red box.

6. デプロイが開始される。通知を開き「デプロイを実行しています」をクリックすると、進行中のデプロイ詳細画面に移動する。

※デプロイにはクラウドの状況によって 30 分～数時間かかることがあります。画面を離れてもデプロイは進行しますが「キャンセル」をクリックするとデプロイが中止されます。

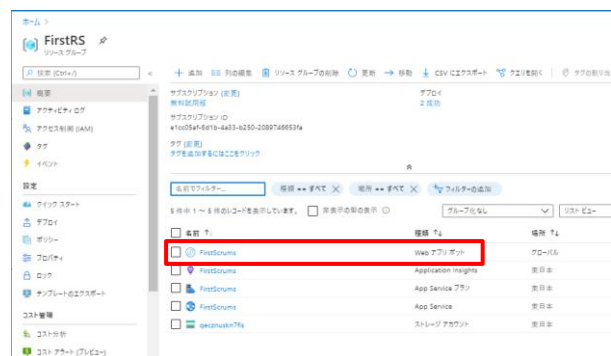


7. デプロイが完了する。「リソースグループに移動」をクリックする。

※デプロイに失敗した場合は、[4.デプロイが失敗したときのやり直し手順]を参照し、再度デプロイを実行してください。



8. 種類が「Web アプリボット」のリソースをクリックする。



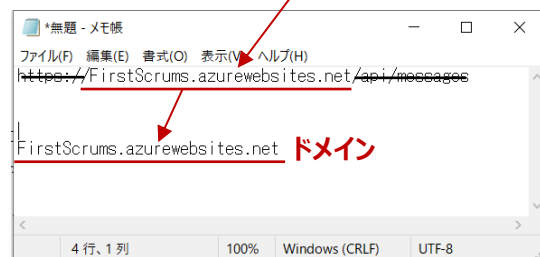
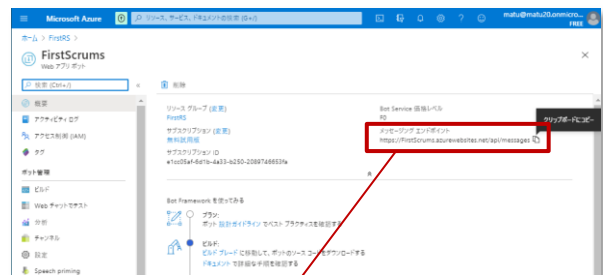
9. メッセージエンドポイントをコピーし、メモ帳などに張り付ける。

“https://”と“/api/message”を削除し、ドメイン部分だけ切り出しておく。（後の手順で使用する。）

※ドメインは、

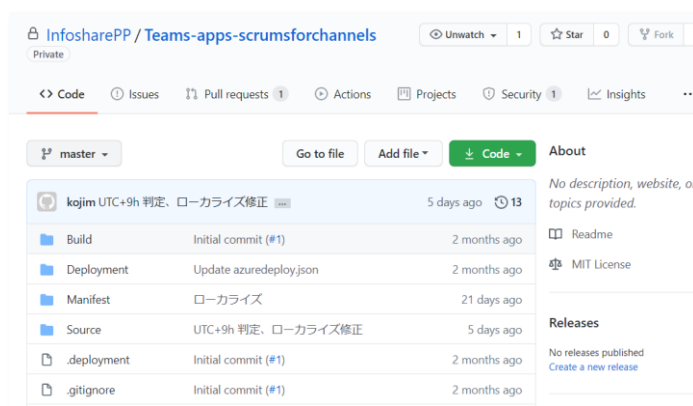
“[BaseResourceName].azurewebsites.net”

という形になります。

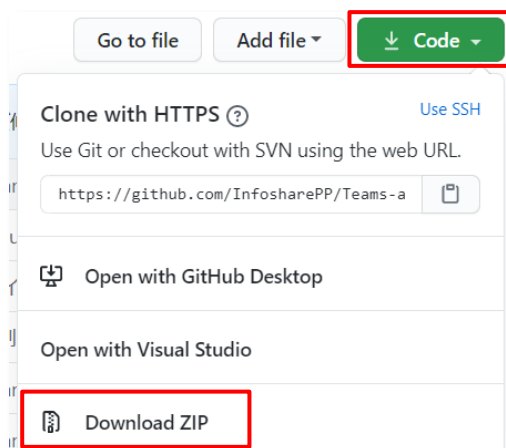


3-5. Zip ファイルのダウンロード

1. <https://github.com/OfficeDevJp/microsoft-teams-apps-scrumsforchannels> にアクセスする。

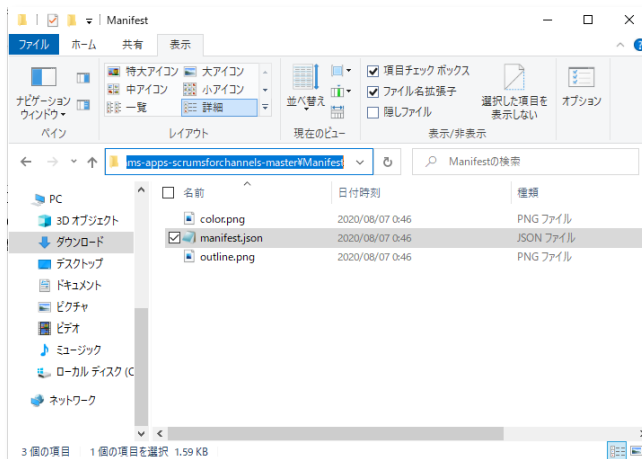


2. 「Code」をクリックしメニューを開き、「Download ZIP」をクリックする。ダウンロードが開始される。



3-6. manifest.json の書き換え

1. [3-5. Zip ファイルのダウンロード]でダウンロードしたファイルを展開し、¥Teams-apps-scrumsforchannels-master¥Manifest¥manifest.json を任意のツールで開く。



2. <<companyName>>を企業名に書き換える。
3. <<websiteUrl>>を任意の URL に書き換える。（企業のホームページ URL など）
4. <<privacyUrl>>を任意の URL に書き換える。（企業で取り決めているプライバシー規約など）
5. <<termOfUseUrl>>を任意の URL に書き換える。（企業で管理している利用規約など）

manifest.json - メモ帳

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

```
[
  "$schema": "https://developer.microsoft.com/en-us/json-schemas/teams/v1.5/MicrosoftTeams.schema.json",
  "manifestVersion": "1.5",
  "version": "1.0.0",
  "id": "c683b4d3-97de-4331-8340-63fcd93b47e6",
  "packageName": "com.microsoft.teams.scrumsforchannels",
  "developer": {
    "name": "<<companyName>>",
    "websiteUrl": "<<websiteUrl>>",
    "privacyUrl": "<<privacyUrl>>",
    "termsOfUseUrl": "<<termsOfUseUrl>>"
  },
  "icons": {
    "color": "color.png",
```

```
packageName : com.microsoft.teams.scrumsforchannels ,
developer : {
  name : "Microsoft Japan Company Limited.",
  websiteUrl : "https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365?rtc=1",
  privacyUrl : "https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365?rtc=1",
  termsOfUseUrl : "https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365?rtc=1",
},
icons : {
  color : "color.png",
```

<Microsoft Teams へのアップロード後の画面>

※ URL はアプリを Microsoft Teams にアップロードした後にリンクとして表示されるもので、Scrums for Channels アプリの機能そのものには影響がありません。特になければ、企業のホームページの URL などを入力して進めることができます。



6. <<botId>>をアプリケーション(クライアント)ID([3-2.アプリを登録する]でコピーしたもの)に書き換える。

```
{
  "accentColor": "#FFCC00",
  "bots": [
    {
      "botId": "<<botId>>",
      "scopes": [
        "team"
      ],
      "commandLists": [
```

```
{
  "accentColor": "#FFCC00",
  "bots": [
    {
      "botId": "8fae4c8c-9929-466f-b7aa-1029d7e783fe",
      "scopes": [
        "team"
      ],
      "commandLists": [
```

無題 - メモ帳

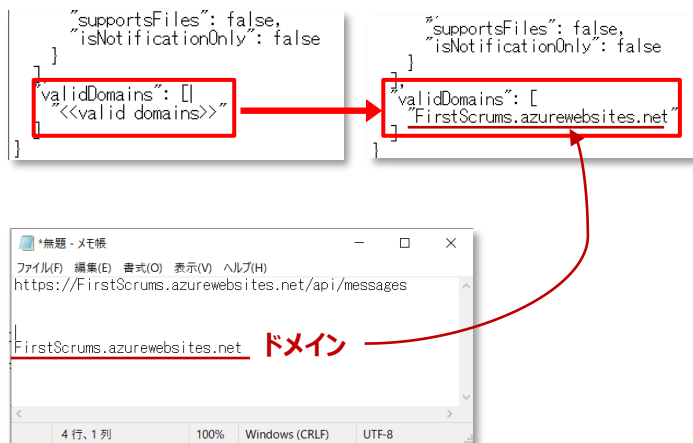
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

```
8fae4c8c-9929-466f-b7aa-1029d7e783fe

VRQX8HP".4dcqsxSfZ_041p.0_1.dccesz

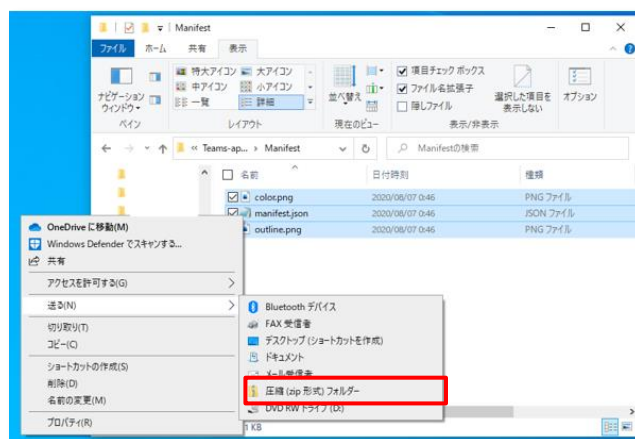
https://github.com/InfosharePP/Teams-apps-scrumsforchannels.git
```


7. 下にスクロールし最下部付近の<<valid domains>>を[3-4.カスタムデプロイ]で用意したドメインに書き換える。

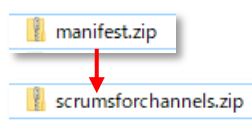


8. manifest.json を保存し、manifest フォルダ内の下記 3 ファイルを Zip パッケージに圧縮する。

- color.png
- manifest.json
- outline.png



9. アップロード用に編集したものだわかるように、圧縮した Zip パッケージの名前を "scrumsforchannels.zip" に変更する。



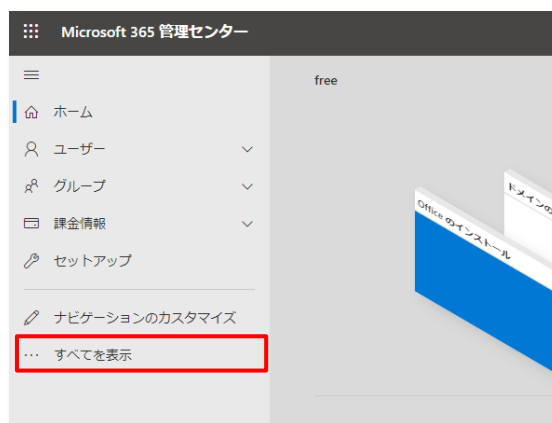
3-7. Microsoft Teams へのアップロード

Scrums for Channels のアプリを Microsoft Teams にアップロードする方法は下記の 2 通りあります。

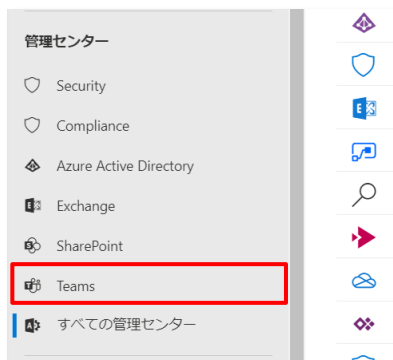
- Microsoft Teams 管理センターからアップロードする
- Microsoft Teams クライアントアプリまたは Web アプリからアップロードする

① Microsoft Teams 管理センターからアップロードする

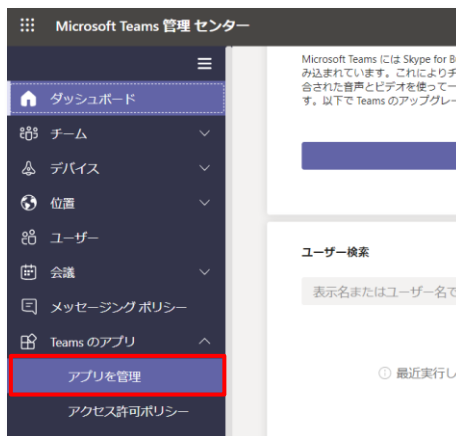
1. Microsoft 365 管理センターにアクセスし、「すべてを表示」をクリックする。



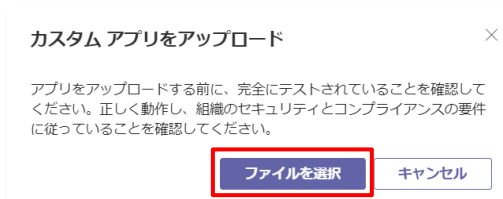
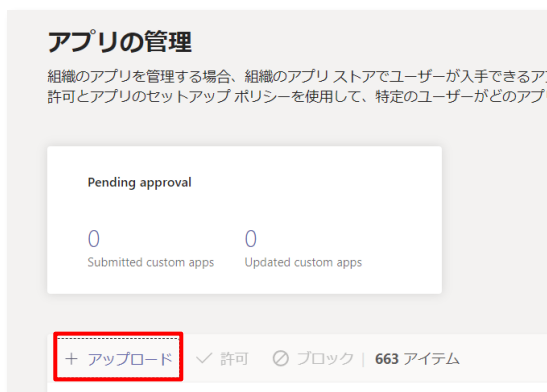
2. 管理センターで「Teams」をクリックする。



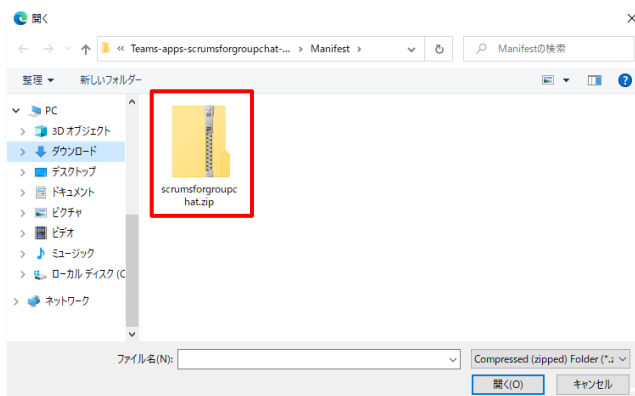
3. Teamsのアプリから「アプリを管理」をクリックする。



4. 「アップロード」をクリックし、ダイアログが開いたら「ファイルの選択」をクリックする。



5. [3-6.manifest.json の書き換え]で作成した“scrumsforgroups.zip”を開く。

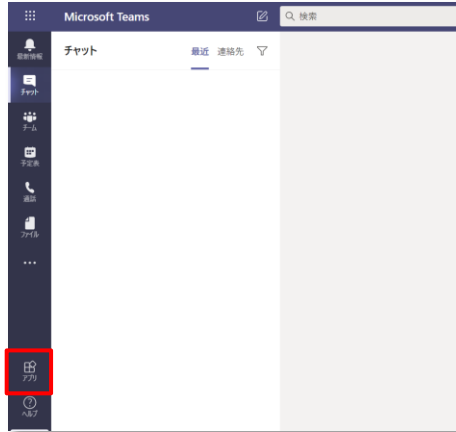


6. アップロードが開始される。完了後にアプリの一覧で検索すると、アップロードされた Scrum for Channels のアプリが表示される。

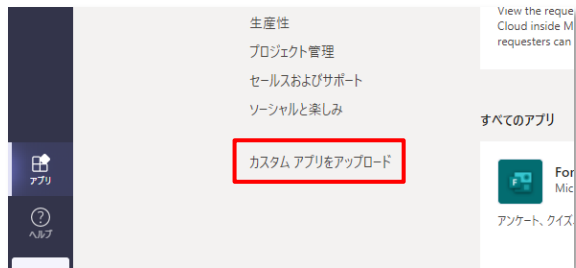


② Microsoft Teams クライアントアプリまたは Web アプリからアップロードする

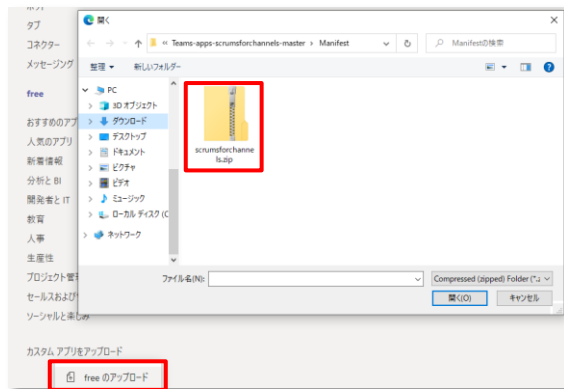
1. Microsoft Teams を起動し、「アプリ」をクリックする。



2. アプリの一覧を下へスクロールし、「カスタムアプリをアップロード」をクリックする。



3. 「[[組織名]のアップロード」をクリックし、[3-6.manifest.json の書き換え]で作成した"scrumforchannels.zip"を開く。



4. 「Scrum for Channels」が Microsoft Teams にアップロードされる。

※アップロード直後は

Scrum for Channels のアイコンが表示されないことがあります。アプリの再起動やブラウザの更新をお試しください。



3-8. チャンネルへの追加

ここまでの手順で Scrums for Channels は Microsoft Teams 組織内で使用できる状態になりました。

各ユーザーがチャンネル上で Scrums for Channels を使用するには、チームに Scrums for Channels を追加する必要があります。チャンネルに Scrums for Channels を追加する手順は、各ユーザーが実行する内容であるため[Microsoft Teams Scrums for Channels 利用者ガイド]に記載されていますのでご確認ください。

4. デプロイが失敗したとき場合の対処

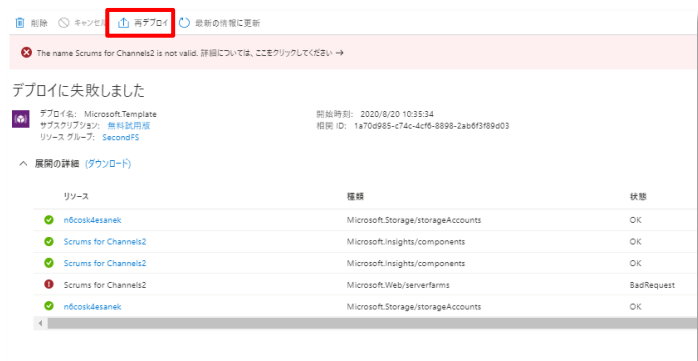
[[3-4.カスタムデプロイ](#)]でデプロイが失敗した場合の対処を説明します。まず再デプロイを試行し、再デプロイも失敗するようなら、展開手順をやり直します。まず再デプロイを試行します。「デプロイに失敗しました」と表示されたら数分待ったあとに「再デプロイ」をクリックします。

再度デプロイが実行されますが、何度もデプロイに失敗する場合は、手順のどこかに間違いがあったことが考えられます。手順をやり直す前には、リソースグループをクリーンアップし、アプリを削除してから再度作成する必要があります。やり直しの準備として行う作業は下記のとおりです。

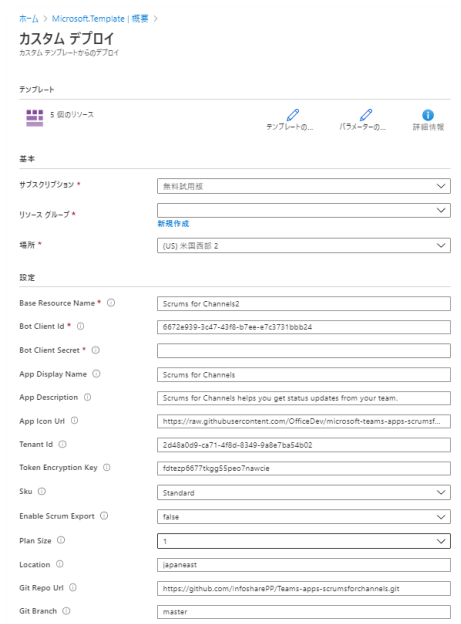
4-1. 再デプロイ

デプロイが失敗した場合、まず再デプロイを試行します。カスタムデプロイにおいて入力ミスがあったことがデプロイ失敗の原因であるとき、再デプロイを正しく行うことで問題が解消されます。手順は下記のとおりです。

1. 「デプロイに失敗しました」と表示されたら数分待ったあとに「再デプロイ」をクリックする。



2. [[3-4.カスタムデプロイ](#)]の手順 4 に戻る。ここで再度手順に従い情報を入力し、デプロイへ進む。



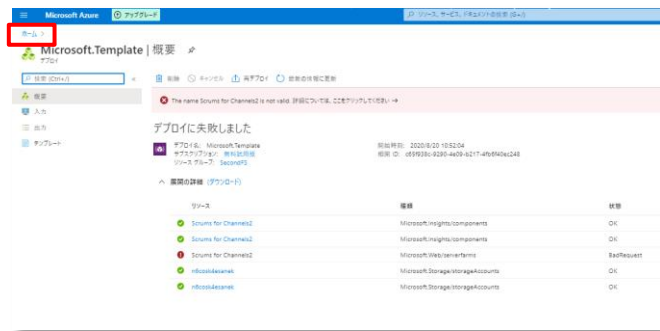
4-2. 使用開始手順のやり直し

再デプロイをしても同様の失敗が繰り返す場合、[[3.使用開始の手順](#)]に不備があったことが考えられるため、手順をやり直します。やり直しの準備として、リソースグループのクリーンアップし、アプリを削除します。手順は下記のとおりです。

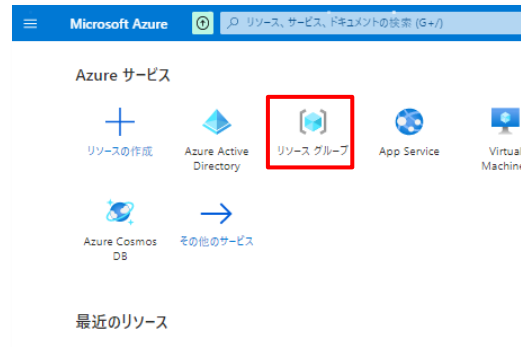
※この手順では、例として「SecondRS」というリソースグループに作成した「Scrums for Channels2」というアプリのデプ

ロイに失敗した場合の手順を示します。

1. 「ホーム」をクリックする。



2. 「リソースグループ」をクリックする。



3. 「SecondRS」（削除するリソースグループ）をクリックする。



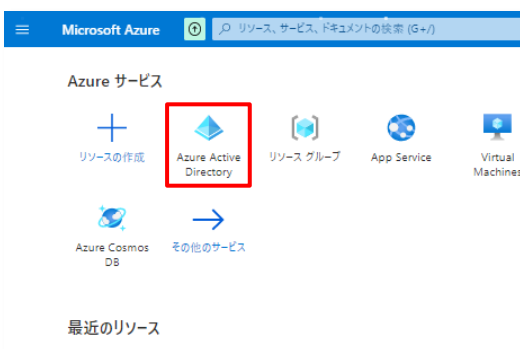
4. 「名前」の左のチェックボックスをチェックし、すべてのリソースが選択されたことを確認したら、「削除」をクリックする。



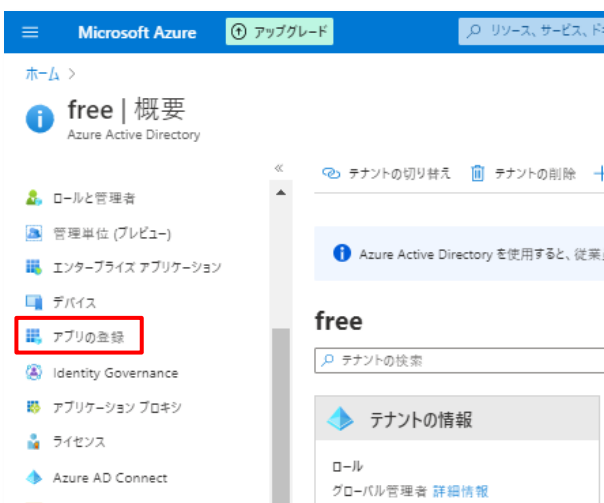
5. 削除の確認に「はい」と入力し、「削除」をクリックする。削除が実行される。



6. ホームに戻り「Azure Active Directory」をクリックする。



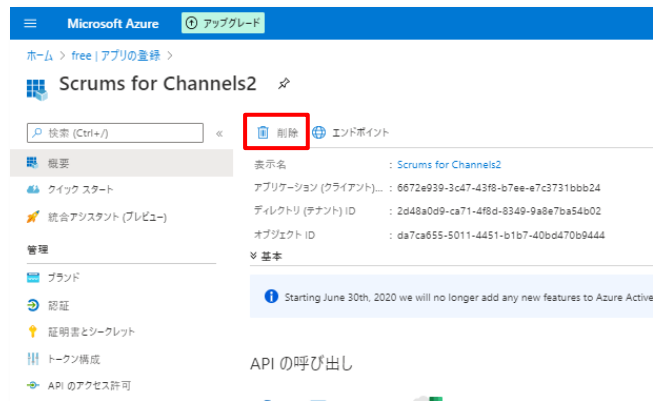
7. 「アプリの登録」をクリックする。



8. 「Scrums for Channels2」（削除するアプリ）をクリックする。

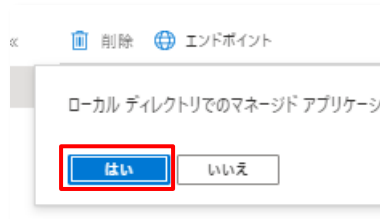


9. 「削除」をクリックする。



10. 「はい」をクリックする。アプリの削除が開始される。

アプリが削除されたらやり直しの準備が完了する。[\[3-2.アプリの登録\]](#)からの手順を再度実行する。



5. よくある質問

質問	回答
やり直しをしてもカスタムデプロイが失敗しますが、どんな原因が考えられますか？	<p>手順でコピー & ペーストのミスなどをしていないか確認してください。手順に間違いがない場合、エラーのステータスを確認し、下記リンクを参照のうえエラーの原因を取り除きます。</p> <p>Azure Resource Manager を使用した Azure へのデプロイで発生する一般的なエラーのトラブルシューティング：</p> <p>https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/azure-resource-manager/templates/common-deployment-errors#find-error-code</p> <p>エラーの原因を取り除いてもデプロイに失敗する場合、またはエラーの原因がわからない場合は、Azure クラウドの状況によってデプロイが失敗していることが考えられます。しばらく時間を置くなどして再度実行してください。繰り返しデプロイが失敗する場合は、リソースグループのリージョン（場所）を「(US)米国西部 2」に設定し作り直してデプロイを実行してください。（リージョン変更によるアプリへの影響はありません。）</p> <p>以上の対応をしてもなおデプロイが繰り返し失敗する場合は、Microsoft の担当者にお問い合わせください</p>
カスタムデプロイが実行中のまま進行しません。	クラウドの状況によってカスタムデプロイには数十分～数時間かかることがあります。デプロイの実行がフリーズしていない様子であればしばらくお待ちください。
クライアントシークレットの値が伏せ字になってコピーできません。	クライアントシークレットの値は一度ページを離れると伏せ字になります。クライアントシークレットを削除し、再度作り直してすぐにクライアントシークレットをコピーしてメモ帳にペーストするなどして保存してください。
組織の Microsoft Teams に Zip ファイルをアップロードするときに、「マニフェストの解析に失敗しました。」と表示され、アップロードできません。	<p>マニフェストファイルの書き換え手順に不備があるために発生するエラーです。エラーの詳細を確認し問題を取り除いてから再度アップロードを実行してください。</p> <p>書き換えに不備がない場合、<<companyName>>などの書き換え部分に禁則文字が使用されていてアップロードの障害になっていることがあります。</p>